

第1回 日本オープンイノベーション大賞 応募書類

■基本情報			
取組・プロジェクト名称			
応募者【5名まで】 ※最上段に取組の代表を ご記入ください	メンバー氏名	所属機関	役職
問 合 せ 連 絡 先	氏名	(ふりがな: )	
	所属機関		
	電話番号	- -	
	E-Mail	@	
	住所	〒	
応募区分	<input type="checkbox"/> 自薦 <input type="checkbox"/> 他薦    (他薦者の所属・氏名 )		
■中心的役割を担う組織			
<input type="checkbox"/> 産業界（大企業） <input type="checkbox"/> 産業界（中小企業、ベンチャー企業） <input type="checkbox"/> 公的研究機関 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> その他（地方自治体、社団法人、非営利団体、学会等）			
■取組が関連する分野（二つまで選択可）			
<input type="checkbox"/> 機械 <input type="checkbox"/> 船舶・海洋 <input type="checkbox"/> 航空・宇宙 <input type="checkbox"/> 電気電子 <input type="checkbox"/> 化学 <input type="checkbox"/> 繊維 <input type="checkbox"/> 金属 <input type="checkbox"/> 資源工学 <input type="checkbox"/> 建設 <input type="checkbox"/> 上下水道 <input type="checkbox"/> 衛生工学 <input type="checkbox"/> 農業 <input type="checkbox"/> 森林 <input type="checkbox"/> 水産 <input type="checkbox"/> 経営工学 <input type="checkbox"/> 情報工学 <input type="checkbox"/> 応用理学 <input type="checkbox"/> 生物工学 <input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 原子力・放射線 <input type="checkbox"/> 医歯薬学 <input type="checkbox"/> その他（    ） ※各分野の詳細は応募要項をご参考ください			
■希望する受賞名 第一希望：(    ) 第二希望：(    ) ※数字で記載してください「例：①」			
①科学技術政策担当大臣賞    ②総務大臣賞    ③文部科学大臣賞    ④厚生労働大臣賞 ⑤農林水産大臣賞    ⑥経済産業大臣賞    ⑦国土交通大臣賞    ⑧環境大臣賞 ⑨日本経済団体連合会会長賞    ⑩日本学術会議会長賞			
■本取組・プロジェクトに係る受賞歴、他賞への応募状況があればご記入ください			

■組織・プロジェクトの概要（アピールポイントを 400 字程度の箇条書きで簡潔にご記入ください）

取組全体、連携の内容、目的、客観的な効果等についてご記入ください。（概要図の添付は可）

※A4 用紙 1 枚に収めること

**【連携の目的】 社会的ニーズへの貢献について(800 字程度で分かりやすくご記入ください)**

現在の社会的ニーズや課題の解決等への貢献、将来の社会や産業の在り方に革新を起こす可能性をご記入ください。

**(評価のポイント)**

- ・ 社会的課題やニーズ対応のインパクト・影響の大きさ
- ・ SDGs の課題設定や KPI を参考にした目標の設定
- ・ 政府の掲げる社会課題への対応
- ・ 将来の社会や産業の在り方への革新的インパクト・影響の大きさなど

※A4 用紙 1 枚に収めること

**【連携の内容】 先導性・独創性について(800字程度で分かりやすくご記入ください)**

イノベーションを創出するための連携の体制づくり、拠点の構築、プロジェクトの進捗や知財のマネジメント、参画機関・参画者のコミュニケーション等における先導性や独創性をご記入ください。

**(評価のポイント)**

- ・従前にはないプレーヤーの巻き込み
- ・互いの良いところを組み合わせ弱いところを補完する体制づくり
- ・適時適切なプロジェクトの進捗管理
- ・早めかつ包括的な知財戦略
- ・参加機関や参加者のモチベーションを維持向上するコミュニケーション手法の導入など

※A4用紙1枚に収めること

**【連携の効果】 客観的な効果と持続可能性について(800 字程度で分かりやすくご記入ください)**

連携の取組の効果が上がっているか、効果が上がる見込みがあるか、連携の実施において公的資金に過度に依存していないか、持続的かつ自立的な連携かなどをご記入ください。

※必ず何らかの数値指標をご記入ください。

(数値指標の例：取組プロジェクトにおける売上、利益、雇用創出、参加者数、賛同者数、資金調達額、予算規模、取組プロジェクトで実現する効率性、生産性の向上を示す数値。)

(評価のポイント)

- ・ 連携の効果や持続可能性を示す定量的な数値
- ・ プロジェクトの効果と持続可能性を示す定性的な事項

※A4 用紙 1 枚に収めること